

プラスワンチャレンジ解答と解説 5年 小数のかけ算

3.1mの鉄のぼうの重さをはかりました。この鉄の棒1mあたりの重さは1.2kgです。はかった鉄の棒の重さは何kgになりますか。



この文章問題を解く式は、次のうちどれでしょう。1つ選んで○をつけ、その式を選んだ理由を、図や式、ことばなどを使ってかきましょう。

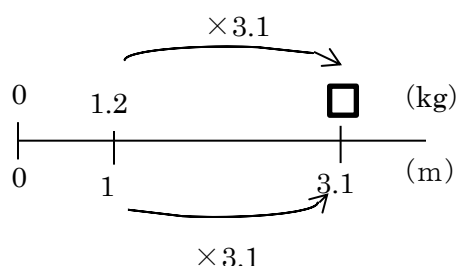
(50点)

- ①() 3.1×1.2 ②() $3.1 \div 1.2$ ③(○) 1.2×3.1

選んだ理由 (50点)

例1) 1mあたり1.2kgの重さの鉄の棒が3.1mあるので、「1mあたりの重さ×鉄の棒の長さ」ではかった重さが求められる。そこで、式は、③の 1.2×3.1 になる。

例2)



数直線図にかくと、左のようになり、 $\square = 1.2 \times 3.1$ だとわかる。だから、式は③の 1.2×3.1 になる。



解説

例1は、「1mあたり」という単位量あたりの大きさの考え方を

使って説明しています。例2は、数直線図を使って考えるやり方ですね。数直線図を使いこなせるようになると、式を考える力がつきますよ。プラス点は「すると、だから」などの説明の言葉で+5点、「1mあたり」という言葉が使えた人は+5点、数直線図がかけて+10点、他の式が違う理由を書けたらそれぞれ+10点です。

何点とれましたか。今回の数学者は古代ギリシャのユークリッド^{こだい}という人です。